

規模別多機能型児童発達支援センター

こども発達支援センター エール緑が丘
放課後等デイサービス オリーブ緑が丘

2025年度利用児童募集要項



社会福祉法人 愛の園福祉会

基本理念「もっとも小さな者のひとりに仕える」

聖書には一人ひとりが他の何ものをもっても代えることのできない人格であり、人ひとりの中に、「神の像」が宿されているという人間観が示されています。

私たちは一人ひとりが尊い存在であり、そこに人間の命と尊厳の根源があると考えます。こうしたキリスト教の精神を基本理念とし、児童福祉法、障害者自立支援法、子ども・子育て支援法、児童憲章に則り、健康で安全・安心な乳幼児の養護教育を目指します。そして在園する子ども、地域の子育て家庭が、心豊かな環境で子育てできるように支援してまいります。

愛の園福祉会の歴史と児童発達支援

社会福祉法人愛の園福祉会は1971(昭和46年)に設立され、マリヤ保育園(現マリヤこども園)を皮切りに、その後開設した幕張海浜保育園(1976年開設、現幕張海浜こども園)、第2幕張海浜保育園(2013年)、緑が丘こひつじ保育園(2020年)の4つの保育施設を経営し、現在に至っています。

1975(昭和50)年に設立された、昭苑こども園(創設時は昭苑幼稚園)を持つ学校法人「堀口学園」とは、姉妹法人で、ともにキリスト教の愛の精神を基盤とし、モンテッソーリ教育を取り入れた保育カリキュラムを共有、「すべての子どもの未知なる開花をめざす」という保育理念を掲げ、幼児教育・保育を行ってきました。

その中で、以前から「発達障がいのグレーゾーン」といわれる子どもの存在に現場の先生方は気づき、苦労しながら保育を続けてきました。インクルーシブ保育が保育の現場でも言われるようになっていますが、発達に課題のある子どもに関わるには、保育士・幼稚園教諭のスキル、知識だけでは難しい面があります。

障がいを持つ方たちの権利擁護を巡る社会の流れ、時代の方向性の中で、私たちが考えたのは各こども園に児童発達支援事業所を開設し、保育と療育の連携をはかり、保育士の立場からも児童発達支援に関する知識・技術、専門性を高める道筋をつけることでした。又、療育の立場から保育と連携することで、その効果を高めることです。結果として、保育園、こども園での保育士の発達支援に対する知識と経験が増し、見方が変わり、発達に課題のある子どもにどう関われば良いかの共通認識が定着していくことで「障がいや発達課題の有無に関わらず、すべて子どもが個々に必要な支援を受けながら同じ場で保育を受けられる」道が作られていくと考えます。

沿革

法人の沿革は右記のQRコードよりご確認ください。



エール緑が丘・オリーブ緑が丘のコンセプト

エール緑が丘、オリーブ緑が丘は、児童発達支援・放課後等デイサービスのガイドラインに定めるそれぞれの役割に加え、5領域等、全ての視点を含めた総合的な支援を行い、その上でこどもの状態に合わせた特定の領域への専門的な支援を重点的に行ってまいります。

児童発達支援センターエール緑が丘は、多様な障がいのある子どもや家庭環境等に困難を抱えた子ども等に対し、適切な発達支援の提供につなげるとともに、地域全体の障害児支援の質の底上げを図るために以下の役割・機能を果たしてまいります。

① 幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能

こどもの発達全般や障がい特性・行動特性等をアセスメントし、適切なアプローチを行うとともに、成人期を見据え乳幼児期から段階的に必要なアプローチを行う視点、障がいの有無に関わらずこどもの育ちに大切な遊びを通して支援する視点、子育て支援の観点を持ちながら、幅広く様々なケースを受け入れることに努めます。

② 地域の障害児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能

地域の障害児通所支援事業所に対して、地域の状況、地域で望まれている支援内容の把握、事業所との相互理解・信頼関係の構築を進めます。また、事業所向けの研修・事例検討会等の開催なども行なってまいります。

③ 地域のインクルージョン推進の中核としての機能

保育所等訪問支援事業の実施により、地域の保育所等における障がいのあるこどもの育ちの支援に協力するとともに、障がいのあるこどもに対する保育所等の支援力の向上を図る等、保育所等への併行利用や移行を推進することや、地域向け講演会、要配慮児童担当の保育士向け研修等を通してインクルージョンの重要性・取組の発信・周知を進めてまいります。

④ 地域の障害児の発達支援の入口としての相談機能

こども発達支援相談事業所ぶどうの木をとおして、発達支援の入口としての相談に適切に対応し、必要に応じ適切な支援につなげてまいります。
また、乳幼児健診や親子教室等の各種施策及びその実施機関等とも適切に連携しながら、家族がこどもの発達に不安を感じる等の「気づき」の段階にあるこどもや家族に対し、丁寧に発達支援の入口としての相談に対応してまいります。

エール緑が丘・オリーブ緑が丘の特徴

(1)利用者枠の考え方

エール緑が丘の30名の利用定員は、緑が丘こひつじ保育園に在園しながら利用する方10名、八千代市内の保育園等から利用する方10名、センターを1日利用する方10名を想定しています。この30名の中に医療的ケア児、重症心身障害児の方を含みます。

(2)緑が丘こひつじ保育園と同一敷地内にあることでのインクルーシブな療育環境

児童発達支援センターと保育園が同一敷地内にあることは全国的にもあまり例がありません。しかし、児童発達支援センターも保育園もこどもの施設であることを考えると、園庭や遊戯室をはじめとして共有・連携できることは多くあります。また、緑が丘こひつじ保育園と同じ敷地内にあることで、こども同士の交流や保護者の相談のしやすさも生まれ、インクルーシブな価値観を共有し、地域に広げていく役割を目指します。

(3)スヌーズレンルームの設置

日本スヌーズレン協会の協力を得て、本格的なスヌーズレンルームを設置します。

スヌーズレンは、治療効果や発達支援を一方的に求めることはせず、障がいを持つ人のオープンゴールな楽しみ方をありのままに受け入れ、一緒に楽しむものです。

スヌーズレンルームでの時間は、障がいを持つ人が、自分で選択し、自分のペースで楽しむための、人生の大切な時間になります。そして共に過ごす人との相互作用により、孤独ではない社会的な存在としての時間となります。



(4)ペアレントトレーニング・保護者交流会

日々、療育の様子をお知らせしつつ、発達に課題のある子どもの子育ての悩みや不安を受けとめ共有していきます。そうした積み重ねの上で、実際の個別支援現場に保護者が入り、支援の方法や様子を見たり、実際にやってみたりして、自宅での接し方や言葉かけ、環境作りなどを共に考え、活用していただく機会を設けます。

- ・こどもと一緒に楽しむイベント（バスボム作り、クッキング、バレンタインチョコ作り、恵方巻き作り、バラ園めぐり、親子遠足、etc.）
- ・悩みごとの共有のための半年に一回の懇談会の実施（対面若しくはオンライン）
- ・就学相談会の実施（4歳、5歳児）
- ・発達外来専門の医師のミニ講演会の企画実施

(5)長期休業中の課外活動（オリーブ緑が丘）

同年代のこども同士で過ごし、アクティビティを経験することで繋がりを深めるような企画をします。（交通費や現地昼食台など実費を伴う場合があります。）

- ・地域の工場見学、社会科見学の実施
 - ・アスレチックや公園でのあそび
 - ・スポーツやボーリング
- その他様々なアクティビティを企画していきます。

(6)こころのオアシスとなる屋外環境

みんなの共有地“Green Common” ～遊びと、発見と、仲間が生まれる場所～

ノーマライゼーション（共生）やインクルーシブ（包括・統合）な視座をテーマに、園庭を取り巻く保育園、児童発達支援センターや放課後等デイサービスの全ての子どもたちに多様な遊びと活動、心のオアシスとなるような屋外環境を共有したいという思いから「みんなの共有地“Green Common”」として園庭をデザインしました。医療的ケア・重症心身障害のこどもたちも室内から廊下に出て、日向ぼっこをしたり子どもたちのなかに入って、交流できる様スペースを設けています。



園庭は近隣への配慮から人工芝を基本としながら、一部に植物を植え、環境のハイブリッド化を図っています。園庭外周をぐりと取り巻くテラスからは、こどもたちのアクティビティがどこからでも眺望でき、皆で園庭を共有していると実感できます。この「見る」、「見られる」の関係がこどもたちを外へと誘います。



(7)いつでも遊べる屋内大型ネット遊具

遊戯室には、天候に左右されることなく思い切り遊べる大型ネット遊具を備えています。上や下へと立体的に遊べる『木のすみか』をイメージし、木の中を垂直に登り上層ネットエリアに向かうルート、木の周りを囲む中空のかごはネット越しに室内が見渡せるハラハラドキドキルートもあります。

のぞき窓のある小屋からはチューブすべり台を使って滑り降りることもできます。

揺れるネットの上で体をコントロールしてバランスを保つ動きを通して、挑戦する気持ちと何度でもやってみる気持ちとともにバランス感覚を養い、体幹を鍛えることができます。

遊びながら友達同士のコミュニケーションをとりつつ、ゆずり合いの気持ちを養い、協調してネットの迷路を抜けだして、すべり台の出発口に向かう動きはちょっとした探検気分を味わうことができます。



ご利用案内

開設予定日と開設場所

開設日	2025年5月1日
施設種別	規模別多機能型児童発達支援センター
名 称	こども発達支援センター エール緑が丘 放課後等デイサービス オリーブ緑が丘
所在地	〒276-0040 八千代市緑が丘西 1丁目 10-5
問合せ先	TEL 043-304-5700 FAX 043-273-2267 (エール幕張海浜／児童発達支援センター開設準備室)

利用要件および利用対象と定員、サービス提供日時

	エール緑が丘	オリーブ緑が丘
定員	30名 (医療的ケア児5名程度、重症心身障がい児5名程度を含む)	20名 (医療的ケア児5名程度、重症心身障がい児5名程度を含む)
対象	就学前の児童	小学1年生から6年生までの児童
費用	所得に応じて利用料が決定されます。 *負担上限額や減免の対象となる場合があります。 *3歳以上児は保育料無償化の対象となります。 *利用料の他に、給食費等実費分をお支払いいただきます。	所得に応じて利用料が決定されます。 *負担上限額や減免の対象となる場合があります。 *利用料の他に、給食費やおやつ代、社会科見学等実施時の交通費等に係る費用をお支払いいただきます。
併設事業	保育所等訪問支援事業、こども発達支援相談事業所ぶどうの木 緑が丘こひつじ保育園(定員110名)	
サービス提供日および時間	月曜日から金曜日 9時30分から16時まで *祝祭日及び振替休日を除く	平日 下校後から 17時30分まで 土曜日・長期休業期間 10時から16時まで *祝祭日及び振替休日を除く
送迎エリア	みどりが丘小学校区、新木戸小学校区、高津小学校区、西高津小学校区、南高津小学校区エリアを中心に送迎を予定しています。 保護者が送迎できる場合は、他の小学校区にお住まいの方もご利用できますのでご相談ください。 *緑が丘こひつじ保育園に通われるお子さんの自宅送迎はありません。 *市内保育施設に通われているお子さんは、各保育施設へ送迎に伺います。 *医療的ケア対応や重症心身障がいをお持ちのお子さんについては、個別に調整の上、利用および送迎時間を決定します。	
職員配置	管理者、児童発達支援管理責任者、公認心理師、看護師、作業療法士、言語聴覚士、理学療法士、保育士、児童指導員、栄養士、運転手、事務職員	

主な1日の流れ（目安）

エール緑が丘

	9:30					12:30					16:00	
												
緑が丘こひつじ 保育園 および 市内保育施設 在籍児童	登所	はじまりの会	療育支援	自由遊び	昼食	おかえりの会	登所	はじまりの会	療育支援	おやつ	自由遊び	おかえりの会
未就園児童 (1日利用)	登所	はじまりの会	療育支援	自由遊び	昼食		休息／午睡		療育支援	おやつ	自由遊び	おかえりの会

オリーブ緑が丘

	10:00	12:00	15:00	16:00	17:30				
									
平日				各学校へお迎え	宿題等	療育支援	余暇活動	送迎	
土曜・学校振替日 ・長期休業日	送迎	療育支援	自由あそび	アクティビティ	昼食／休息	療育支援	自由あそび	アクティビティ	送迎

* 利用者の特性に合わせて年齢に応じた弾力的な支援を行います。

利用申込みについて

申込条件

- (1) 利用開始時点で八千代市に在住、且つ、住民登録があること。
※近隣市にお住まいの方はご相談ください。
- (2) エール緑が丘または、オリーブ緑が丘の利用を保護者が希望しており、以下のいずれかに該当すること。
 - ①療育機関等で発達相談や発達検査を受け、児童発達支援の利用を案内されている。
 - ②概ね1年以内に療育機関等で発達検査を受け、児童発達支援の利用を勧められている。
 - ③医療機関で障害の診断を受け、児童発達支援の利用を勧められている。
 - ④障害児通所受給者証の交付を受け、現在、他の療育機関を利用している。

事前相談（相談必須）

- (1) 利用申込前にお子さまの様子を伺います。事前相談は予約が必要ですので下記連絡先までご連絡をお願いします。
新規にご相談される方は「母子健康手帳」をお持ちください。あわせて下記の書類を印刷し、ご記入の上お持ちください。

- ①事前記入票（様式1）
- ②事前記入票2（2歳児以下のお子さん用）（様式2）
- ③事前記入票2（3歳児（年少）以上のお子さん用）（様式3）
- ④事前記入票3（様式4）

連絡先：こども発達支援センターエール緑が丘・放課後等デイサービスオリーブ
緑が丘 開催準備室 電話 043-304-5700
メール info.vine@ainosono.or.jp

- (2) 下記書類をお持ちの場合には、事前相談時にご持参ください。
 - 発達検査結果報告書（既に結果報告書をお持ちの方、1年以内のもの）
 - 医療機関等からの紹介状や診断書
 - 通所受給者証
 - 身体障害者手帳
 - 療育手帳

申込期間

- 一次募集：2024年11月1日（金）～12月13日（金）（土・日・祝日を除く）
 - 二次募集：2025年1月6日（月）～1月31日（金）（土・日・祝日を除く）
- ※一次募集の結果、定員に空きがある場合は、二次募集を行います。

申込み時に必要なもの

- ①施設利用申請書（様式5）
- ②個人情報の取扱いに関する同意書（様式6）

申込み窓口

緑が丘こひつじ保育園（八千代市緑が丘西1-10-5 電話047-409-3939）

※1 窓口の受付時間は午前10時から午後4時までです。（土曜日・日曜日・祝日は受付を行っておりません。）

※2 郵送も受付ます。郵便事故については、当施設では責任を負いかねますのでご了承ください。（ご心配な方は、書留や特定記録郵便等をご利用ください。）

問い合わせ先

児童発達支援センターエール緑が丘・放課後等デイサービスオリーブ緑が丘 開設準備室
電話 043-304-5700 メール info.vine@ainosono.or.jp